



キラリ女^{ひと}

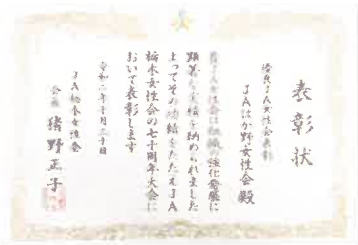
16号

JA はが野女性会

会長 猪野 正子

発行日

令和3年3月1日



会長あいさつ

猪野 正子

暖かな日差しを受け庭先の水仙や木の芽が膨らみはじめ春の訪れが感じられます。今年度は未曾有のコロナ禍で誰でも不安一杯でしたが会員皆様にはしっかりとした新型コロナウイルス感染症防止対策をし健康を維持され安心しております。

当たり前に出た今までの活動は無理でしたが「今だからこそ出来ること」を考え新たなチャレンジが出来ました。「マスクを作成して

の寄付、空き缶集めて九州被災地へ募金、エコキャップ集めてフクチン送ろう、社協への食品の提供」等、はが野女性会会員一人一人が心を一つに繋がれたからこそ実現出来たことと心より感謝申し上げます。

また、JA 栃木女性会が発足70周年を迎え記念式典が縮小ながら開催されました。はが野女性会は優秀女性会として表彰して頂きました。先輩方々から受け継いできた組織の底力を今後とも継承しながら地域に根ざした活動を勧めて参ります。「地域に輝け仲間と共に☆」を合言葉に健康に気をつけて「一生現役」で力発揮して参りましょう!!



芳賀地区女性会

会長 石下 篤子



活動休止中は通信のみでしたが、9月から再開となりました。時世の中、三密をさけ、マスク着用・手の消毒・検温等、会員の皆様のご協力に感謝し、寄せ植え教室を無事終了。自粛期間を経験し「顔を会わせ」で「話す」大切さを知る一年になりました。



市貝地区女性会

会長 佐藤 文子



集まりのない通信だけの活動に、ご理解をいただき感謝します。会員の方から「80歳になっても女性会好きだよ...」と言っていたき嬉しく、仲間作りのおかげだと思います。

これからもSDGsの実践と食・健康・趣味さまざまな事に、共に楽しんで歩みます。



茂木地区女性会

会長 渡邊 京子



今年度も後半になれば終息するだろうと立てた活動計画もコロナ禍は10月になっても治まらず、安心安全を考え会員同士集まってる活動はすべて中止としました。そして、12月に2日間に渡り「茂木地区女性会感謝の日」を設け、記念の品の引き換えを行いました。



真岡地区女性会

会長 堀澤 綾子



今年度はコロナ禍の中当初は活動が出来ないもどかしさもありましたが、そんな中でも何が出来るかを役員で話し合い班長研修・真岡地区女性会感謝の日・フラワーアレンジメントといくつかの活動を実施する事が出来ました。会員の皆様のマスクの奥の笑顔に支えられて...



二宮地区女性会

会長 猪野 正子



女性会加入者全員に手作りマスク配布
寄せ植え教室90人参加三密避けて開催
ゴミを資源に変え、空き缶・エコキャップの回収
会員皆様のご協力ありがとうございました。なの花・みどり・あじさいの「学び・交流」の復活を楽しみにしております。



益子地区女性会

会長 加藤 トシエ



新型コロナウイルスで活動自粛の中、災害募金活動のアルミ缶回収に全員参加協力、エコキャップも山積みです。自分達が学び、楽しむ事のみならず、誰かの為になれる活動に満足感を覚えた一年。

三密を避け、フラワーアレンジ教室、新年度に夢や希望が持てたでしょうか。



コロナ禍の中で・・・

新型コロナウイルス感染は、世界中の社会機能のペースを狂わし、安全な暮らしは活気を失い、人々は生活の仕方まで制限され、不安な日々を送ってきました。

これまでに、体験したことのない
非常事態を皆さんはどう思いますか？

あつまれ！会員の声

外出や買物も自粛し、我家でも家庭菜園での料理が食卓に並び、生活が変わり、自分を見つめる時もありました。物事を前向きに捉え、今を生きようと考えています。

3月の彼岸に出すはずだった菊がコロナ禍のためにイベント自粛で全然売れなくなって、価格が暴落しました。せっかく咲いた花を廃棄しました。悲しかったです。

新型感染症と向き合ってほぼ10か月。振り返れば換気・除菌・マスクで、歓喜の声もなく春が過ぎ、三密の喚起で夏も過ぎ、生活スタイルが一変。“チャンスはピンチの顔してやってくる”とか。

東京の孫からマスクを送ってほしいと電話あり。どこの店に行ってもありません。友達から手作りマスクをいただいた時は、とても嬉しかったです。コロナ禍の終息が待ち遠しい。

毎日、コロナ感染症の話をし、皆んな気をつけています。マスクも沢山持っています。口紅もしなくなりました。女性としてだめですか？早くマスク無しで生活したいです。

私は多くの高齢者と接する機会があるので、感染したり感染させたりしないよう、バランスのとれた食事、運動、睡眠を心掛け、不要不急の外出もできるだけしないようにしている。

自粛生活は、体力も気分も落ち込み辛い時期でした。草取りが大変で面倒と思っていた庭が精神的に助けてくれました。菜園と草花に癒され、力を貰い元気になりました。

今までは、海外旅行やカルチャースクールなど自由に通えたものが自粛生活になり戸惑いを隠せません。三密を避け感染しない、させない行動を考えなければなりません。

第三波を迎えている新型コロナウイルス感染。感染者が増えて、より一層不安になる。諦めとか慣れは怖い！医療崩壊を防ぐ為にも各自が気を引き締めていかなければならない。

ソーシャルディスタンスや三密という言葉が飛び交い、生活様式も一変。孫達や友人達とも自由に会えず、寂しい思いをしています。皆で笑いあえる日が戻ることを願っています。

予定していた行事の運動も中止。一日も早く、平穏な日々になる様、基本的な感染症対策をとって運動を続けています。心身の健康を保ち、笑顔で現実を乗り越えて行きます。

感染拡大に明け暮れた一年。幸い農家の私には、さわやかな空気のもと「密」はほど遠い。あたり前の生活の重要さに気付く年でした。楽しみにしている観劇に早く行きたいな！

マスクが品薄の日々、準備をして下さった方々の丁寧な裁断のおかげで、ミシン掛けのお手伝いをしました。「新型コロナウイルスからお守り下さい」と念じながら・・・

ウイルスも自然のバランスの一部。増やさない為には、環境を守る事が重要だと聞いて、はっとした。マスク着用などの身近な対策と共に、大きな視点も持たなくては。

マスクや紙類の買い占め、ステイホームからのGoTo～など沢山の情報に翻弄され、未だ混乱している。毎日、テレビからコロナ状況にどこかマンネリ化している日常が恐い。

生活福祉部の皆様へ
地域の皆様を支援するため、毎日現場で頑張っている皆さんに感謝申し上げます。
寒い日が続きますが、どうぞご自愛ください。
JAはが野女性会一円



マスク作り



アルミ缶回収



フードバンクに寄付



生活福祉部へプレゼント

芳賀地区

キラリ女



大根田 龍子さん

お味噌を作りたくて女性会に入り多くの人に支えられ友人もたくさんできました。

真岡地区

キラリ女



黒子 真菜さん

感染対策を取り、11月に一度だけヨガ教室が開催されました。プレミズのリフレッシュの場となりました。

市貝地区

キラリ女



永嶋 志保子さん

毎日健康で生活できる事に感謝。時には、旅行や趣味を楽しみリフレッシュ。

益子地区

キラリ女



塚田 恵子さん

共に学び輝いている女性会の仲間。行事の度に元気を載せて我家に持ち帰っております。

茂木地区

キラリ女



五味淵 幸子さん

家庭菜園やハイキング、健康体操を楽しみ、心も身体も健やかに「キラリ」と輝ける日々を過ごしたいですね。

二宮地区

キラリ女



岩井 初枝さん

女性会で沢山の友達と知り合い、知識も増え、日常生活に活気が出ました。女性会最高です。

倶楽部紹介

なの花倶楽部

倶楽部長
山中 映枝



11月4日、ヨガ教室を開催しました。初心者でも無理のない動きで、心地よい感覚を楽しむことができました。終わった後は、身体が軽くなり爽快でした。短い時間でしたが、コロナ禍で日頃の運動不足も解消することができて、身体も心もリフレッシュできた日となりました。

地産地消倶楽部

倶楽部長
南雲 富美子



コロナ禍で、当初予定していたイベントは出来ず、変更を余儀なくされました。自粛期間が長くなって来たことを機に、倶楽部員一



同でレシピ集を作成し、昨年末会員の皆様に配布いたしました。おうち時間で、楽しく手軽に出来るレシピ集になっています。是非ご活用下さい。

編集倶楽部

倶楽部長
光菅 静子



「キラリ女16号」を、困難な時だからこそ地域の皆さんに届けよう。倶楽部員の思いは一致しました。変化に積極的に向き合い、知恵を出し合い、行動するはが野女性会の姿を、発信しなければと部員一丸となり取り組みました。発行にあたり、貴重なご意見ご寄稿ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

組織強化倶楽部

倶楽部長
猪野 正子



- 4月 マスク贈呈
生活福祉部スタッフ、利用者、未来ちゃん会員
- 10月 アルミ缶回収、九州被災地へ募金
- 11月 リーダー研修会
JA はだの女性部とのリモートでの交流会
- 12月 エコキャップ集めてワクチン送ろう
- 1月 生活福祉部のスタッフに茶菓子贈呈
- 2月 常勤役員との意見交換会、鳥インフルエンザ支援募金
うまいもんパートIII 作成



コロナ禍の影響の中だからこそ各地区会長が知恵を出し合い地域に根ざした新たな活動が実行出来ました。

健康管理倶楽部

倶楽部長
法師人 文子



青空の下「井頭ウォーキング」で爽やかな汗を流そうと計画をしましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点より、各自が「ウォーキングシート」(ウサギとカメ)作成となりました。会員の36%に当たる576名が参加し、その内245名が完歩しました。

今後も、それぞれの置かれた立場で健康作りに励んでいただきたいと思います。

文化倶楽部

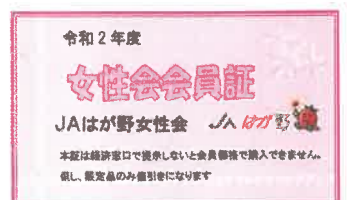
倶楽部長
小林 峰子



コロナ禍のため女性会フェスティバルの開催も中止となり、今現在も不確かな状態です。それでも開催できることを前提に、女性会員の皆様が喜んで頂けるように委員みんなで知恵を出し合い本番に向けて頑張りますので、皆様のご協力をお願い致します。



酒井 澄子 菊井 康江 仲山 智子 本田 幸子
佐藤 清子 阿久津博子 光菅 静子 田中 延子 大関 孝子
竹石 正代 大塚 智子



年会費 1,000円

問合せ先: JAはが野 総合企画部地域支援 TEL.0285-83-7720